

冬山遭難事故多発

毎年多発する遭難事故の原因は「吹雪」「滑落」「雪崩」です。特に吹雪は視界を奪い方向感覚を狂わせ、体力や気力も奪います。また、固く凍った雪の斜面は死の滑り台になることがあります。**冬山登山は気軽なレジャーではありません。十分なトレーニングを積んだ登山者だけが立ち入れる厳しい場所です。**登山届の提出のほか、家族等へも知らせておきましょう。雪に覆われた厳しい冬山で安全に登山を楽しむために、次のことに留意してください。



アイスガーデンを目指す方へ ～救助が非常に困難なエリアです～

アイスガーデンに行くためには、急斜面や沢の近くを歩くなど危険な場所が多いため、現地に詳しいガイドを必ず同伴ください。また出発の前には入念に装備品を確認ください。

1



初心者だけの入山は 避けてください

初心者の方は必ず経験豊富なリーダーや山岳ガイドと一緒に登りましょう。

2



冬山の難易度は 天候で変化します

ルートや天気予報等の情報を集め、自分たちのレベルと慎重に照らして進退を判断ください。

3



寒冷に耐えられる 装備を持ちましょう

登山の装備等はもちろん、地形図やコンパス、GPSの他にヘッドランプや食料等も必須です。

※引き返すことも想定し旗竿やカラーテープ等を持参して、目印を付けながら歩くことも有効。

4



ちょっとした転倒が 大きな滑落事故に つながります

歩行に少しでも不安がある場所ではロープを利用しましょう。

5



十分なトレーニングを 行いましたか？

冬山を歩くのは体力と、様々な装備を使いこなす技術が必要です。

6



常に雪崩に警戒を (好天時でも油断しない)

熟練者でも雪崩の予測は困難です。積雪や地形を把握し常に警戒を忘れないでください。